

点列の極限【雷紋問題】 【類題】

複素数  $z_n$  を,

$$z_0=0, z_1=1, z_{n+2}=z_{n+1}+\alpha(z_{n+1}-z_n) \quad (n=0, 1, 2, \dots)$$

により定める。ただし,  $i$  を虚数単位とし,  $\alpha=\frac{1}{2}\left(\cos\frac{\pi}{3}+i\sin\frac{\pi}{3}\right)$  と

する。また, 複素数平面上で複素数  $z_n$  を表す点を  $P_n$  とする。

- (1)  $z_2, z_3, z_4$  を求めよ。
- (2) 点  $P_0, P_1, P_2, P_3, P_4$  を図示せよ。  
また, 線分  $P_0P_1, P_1P_2, P_2P_3, P_3P_4$  の長さ, および  $\angle P_2P_1P_0, \angle P_3P_2P_1, \angle P_4P_3P_2$  の値も図中に示せ。
- (3)  $z_{n+1}-z_n$  ( $n=1, 2, 3, \dots$ ) を  $\alpha$  と  $n$  を用いて表せ。
- (4)  $z_n$  の実部, 虚部をそれぞれ  $x_n, y_n$  とする。このとき,  $x_n, y_n$  をそれぞれ  $n$  を用いて表せ。
- (5) (4) で求めた  $x_n, y_n$  について,  $\lim_{n \rightarrow \infty} x_n, \lim_{n \rightarrow \infty} y_n$  をそれぞれ求めよ。

< '16 九州工業大 >

【戦略】

例題は

動き方が日本語で書いてあり, それを漸化式で立式表現するという流れでした。

本問は先に

$$z_0=0, z_1=1, z_{n+2}=z_{n+1}+\alpha(z_{n+1}-z_n) \quad (n=0, 1, 2, \dots)$$

という漸化式の方が与えられて,

この漸化式で定まる点列はどういう振る舞いをする?

という投げかけ方になっています。

もちろん, 例題で学習した

ベクトルの回転&拡大縮小

という漸化式の図形的意味を読み取れば, 正直 (1), (2) の実験設問については計算した「ふり」ができます。

(4) の  $z_n$  を有理化して実部虚部を導出する部分の計算は鬱陶しいものがありますが, 落ち着いて部分的に処理するのがよろしいかと思います。

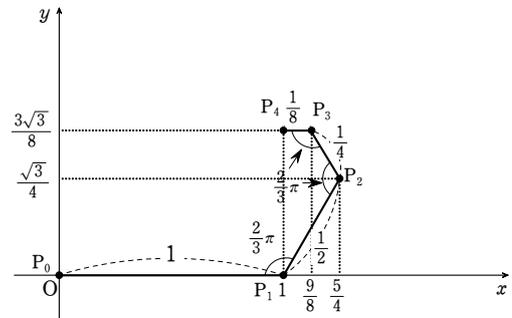
【解答】

$$(1) z_2=z_1+\alpha(z_1-z_0)=1+\alpha=\frac{5}{4}+\frac{\sqrt{3}}{4}i \quad \text{Ⓐ}$$

$$z_3=z_2+\alpha(z_2-z_1)=1+\alpha+\alpha^2=\frac{9}{8}+\frac{3\sqrt{3}}{8}i \quad \text{Ⓑ}$$

$$z_4=z_3+\alpha(z_3-z_2)=1+\alpha+\alpha^2+\alpha^3=1+\frac{3\sqrt{3}}{8}i \quad \text{Ⓒ}$$

(2)



(3)  $z_{n+2}-z_{n+1}=\alpha(z_{n+1}-z_n)$  であるため

$$z_{n+1}-z_n=\alpha^n(z_1-z_0), \quad \text{すなわち } z_{n+1}-z_n=\alpha^n \quad \text{Ⓓ}$$

(4)  $n \geq 1$  のとき,

$$\begin{aligned} z_n &= z_0 + \sum_{k=0}^{n-1} (z_{k+1}-z_k) \\ &= \sum_{k=0}^{n-1} \alpha^k \\ &= \frac{1-\alpha^n}{1-\alpha} \end{aligned}$$

$$\text{ここで, } \alpha^n = \left(\frac{1}{2}\right)^n \left(\cos\frac{n\pi}{3} + i\sin\frac{n\pi}{3}\right)$$

$$\text{ゆえに, } z_n = \frac{1 - \frac{1}{2^n} \left(\cos\frac{n\pi}{3} + i\sin\frac{n\pi}{3}\right)}{\frac{3}{4} - \frac{\sqrt{3}}{4}i}$$

$$= \frac{\left(\frac{3}{4} + \frac{\sqrt{3}}{4}i\right) \left\{ \left(1 - \frac{1}{2^n} \cos\frac{n\pi}{3}\right) - \frac{\sin\frac{n\pi}{3}}{2^n} i \right\}}{\left(\frac{3}{4} - \frac{\sqrt{3}}{4}i\right) \left(\frac{3}{4} + \frac{\sqrt{3}}{4}i\right)}$$

$z_n$  の実部は

$$\begin{aligned} &\frac{\frac{3}{4} \cdot \left(1 - \frac{1}{2^n} \cos\frac{n\pi}{3}\right) + \frac{\sqrt{3}}{4} \cdot \frac{\sin\frac{n\pi}{3}}{2^n}}{\frac{3}{4}} \\ &= \left(1 - \frac{1}{2^n} \cos\frac{n\pi}{3}\right) + \frac{1}{2^n \sqrt{3}} \sin\frac{n\pi}{3} \end{aligned}$$

$z_n$  の虚部は

$$\begin{aligned} &\frac{-\frac{3}{4} \cdot \frac{\sin\frac{n\pi}{3}}{2^n} + \frac{\sqrt{3}}{4} \left(1 - \frac{1}{2^n} \cos\frac{n\pi}{3}\right)}{\frac{3}{4}} \\ &= \frac{1}{\sqrt{3}} \left(1 - \frac{1}{2^n} \cos\frac{n\pi}{3}\right) - \frac{1}{2^n} \sin\frac{n\pi}{3} \end{aligned}$$

よって

$$x_n = 1 - \frac{1}{2^n} \cos \frac{n\pi}{3} + \frac{1}{2^n \sqrt{3}} \sin \frac{n\pi}{3} \dots \text{㊦}$$

$$y_n = \frac{1}{\sqrt{3}} - \frac{1}{2^n \sqrt{3}} \cos \frac{n\pi}{3} - \frac{1}{2^n} \sin \frac{n\pi}{3} \dots \text{㊦}$$

(5)  $\left| \cos \frac{n\pi}{3} \right| \leq 1, \left| \sin \frac{n\pi}{3} \right| \leq 1$  であるから

$$\lim_{n \rightarrow \infty} x_n = 1, \lim_{n \rightarrow \infty} y_n = \frac{1}{\sqrt{3}} \dots \text{㊦}$$

【総括】

本問の場合、クルクル回転しながら、ある点に向かって収束していく様子が見えなくても、カギとなる漸化式が最初に与えられていることから計算自体はできてしまいます。

ただ、通常は

動きが日本語で説明してある → 自分で漸化式を作成

というのがよくある流れだと思いますので、そちらの流れでは自力で漸化式の作成もできるようにしましょう。